

助けるべき？



一般的には、弱い者や幼い者、出来ない者などが困っていたら、助ける事が当然だと思う人も多いですよ。確かに、人生がこれで終わりなら、それで良いと思いますが、生まれてくる赤ちゃんはそれぞれに、性格や思考能力、才能や能力などが人によって違うように、前世の思考能力や性格、才能や能力などが引き継がれていると、考えるのなら、話は変わってしまいますよね。



No.2

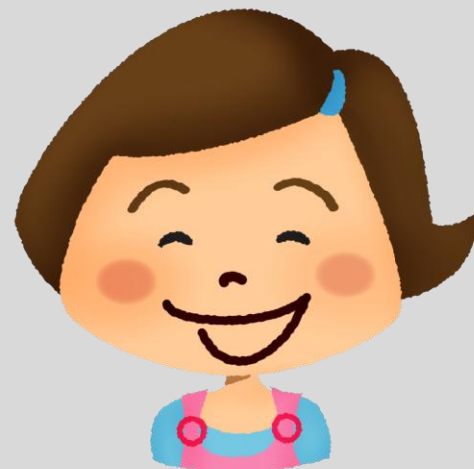


人は誰でも、辛い事や苦しい事があるから、自分の思う通りにならないから、どうすれば良いのか考えるので、思考能力や様々な才能が鍛えられるので、様々な能力も鍛えられるし、性格も変わってしまいますよね。

ですから、可哀そうだからと何でも手を出して助けてしまえば、我が子や相手の成長を止めてしまう事かも知れないし、相手が依存したり寄生したりすれば、来世でも同じ事を何度も何度も繰り返してしまうかも知れませんよね。依存や寄生ほど、楽な事はないですね。



No.3



相手の未来や来世を考えるのなら、相手の為を考えるのなら、どこまで手を出して良いのか、どこから手を出さないで見守るのか、考えながら行動をしてみてもいいのではないでしょうか。

ですから、黙って助けるのではなく、今の事はどう思う？ 良い事？ 悪い事？ どうすれば良い？ あなたならどうする？ などと、様々な質問をし、良い事と悪い事を比較しながら、分析の仕方を練習をしてみてもいいのではないでしょうか。



No.4



思考や様々な能力が鍛えられれば、臨機応変に対応が出来るようになるし、依存しなければ生きられない状態ではなく、自分の事は自分で出来る人間に育つと思いませんか？ 我が子や弱い人、幼い人や出来ない人の成長の為にどう考動するのか、考えて判断が出来る人になりたいですね。

助けるべき？



2025.10.31

みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所

